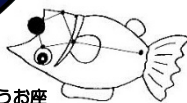
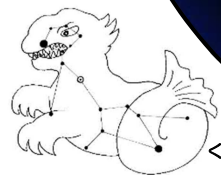


2022年 月刊 星空の散歩道 11月号

11月上旬 21時ごろ

11月下旬 20時ごろの空

ステラナビゲータ/
株式会社アストローツ



11月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

夏の星座は西の空、秋の星座は南と天頂、冬の星座は東の空に見えています。

< 西 > こと座 (ベガ)、わし座 (アルタイル)、はくちょう座 (デネブ)

< 天頂 > ペガサス座、アンドロメダ座

< 南 > みなみのうお座 (フォーマルハウト)

< 東 > ぎょしゃ座 (カペラ)、おうし座 (アルデバラン)

< 北 > 北極星、カシオペア座

☆天文トピック☆

11月8日 皆既月食

月が地球の影に全て隠されます。

18時 9分

部分食 始め

19時 16分~20時 42分

皆既食

21時 49分

部分食 終わり

11月8日 天王星食

天王星が月食中の月に隠される珍しい現象です。20時31分頃に隠され、21時20分頃に現れます。(観察には望遠鏡が必要です)

11月11日 月と火星が接近

夜遅く、東の空で月のすぐ近くに火星が見えます。

☆月の形の変化☆

11月 1日 上弦



11月 8日 満月



11月 16日 下弦



11月 24日 新月



11月 30日 上弦



☆11月の惑星☆

火星…夜遅く、東の空

木星…日没後、南東の空

土星…日没後、南の空

<天文コラム> ミラの「尾」

くじら座の心臓に輝く星「ミラ」には、長い「尾」があることをご存じでしょうか。このミラの尾は紫外線で発光しているため、紫外線天文衛星「GALEX」によって2007年に発見されるまで、存在は知られていませんでした。

ミラは脈動変光星と呼ばれる、星そのものが膨張と収縮を繰り返すことで、明るさが変わる天体として有名です。この膨張・収縮の過程で、星の外側のガス等を放出します。多くの天体の場合、このガスは宇宙空間に散らばるか、星の周りに集まります。しかし、ミラは周囲の物質に対して、とてもはやい速度で移動しているため、放出したガスが取り残され、尾のような姿となるのです。

脈動変光星のミラは今年の11月には肉眼で

見ることはできない明るさです。代わりに明るい木星を目印にその左(東)にあるくじら座を探してみるのはいかがでしょうか。



【紫外線で見たミラの尾】

©NASA/JPL-Caltech

